

刈野辺総合病院

地域連携NEWS

メディカルサポートセンター
地域医療連携課

薬剤部のご紹介

薬剤部 薬剤課長 石崎勝彦

薬剤部は現在、常勤7名・非常勤3名の薬剤師が勤務しています。

業務は薬剤部での中央業務と病棟における服薬指導に大別されます。

《中央業務》

当院は外来処方箋の90%以上を院外発行しているため、薬剤部では主に入院患者さんが使用する薬剤の調剤を行っています。電子カルテにより薬歴を確認し、相互作用や重複投与の防止に努めています。また体重・年齢や腎機能等の検査値を考慮した上で調剤・監査を行っています。特殊調剤として、ベンチ内での高カロリー輸液の無菌的調製やキャビネット内での抗がん剤ミキシングを行っています。

薬局DIでは医薬品に関する情報を収集・整理・加工などを行い、院内へ情報提供を行っています。

《病棟服薬指導》

各病棟に担当薬剤師を配置しています。担当者は患者さんのベッドサイドに伺い、薬物療法について説明を行っています。

その他、栄養状態の改善、治療効果向上を目指すNSTや抗菌薬の適正使用を監視するICTにおいて他の医療スタッフと協働体制をとっています。

出荷調整が後を絶たない状況にて関係部署の皆様にはいつもご協力を頂いております。これからも医薬品の安定供給に努めてまいります。今後ともよろしくお願い致します。

☆当院で行っている予防接種

- ・帯状疱疹（シングリックス）
- ・肺炎球菌（ニューモバックス）
- ・破傷風
- ・A型肝炎（エームゲン）
- ・B型肝炎（ヘプタバックスⅡ）
- ・MR
- ・おたふくかぜ
- ・水痘

※詳細は地域医療連携室まで
お問い合わせください

